審判員について(主審,線審の行い方)

丰審

【試合前】

ネット高さ,シングルススティックの確認 スコアシートに必要事項を記入する。

【プレマッチミーティング(試合開始前の確認】

選手の確認

・スコアシート記載事項に間違いはないか。記入されていない場合は必要事項を記 入すること。

試合形式の確認

・1 セットマッチ,8 ゲームプロセット,3 セットマッチ,6 ゲーム先取, アドバンテージの有無など確認を行う。

コイントス(又はラケットによるトス)

・トスの勝者に何を選択するか決定させる。

(a)サーブまたはレシーブ (b)エンド

その後トスの敗者に残ったものを選択させる。

【試合開始】

主審のコールでゲームが始まる。

・サービスの「フォルト」, ショットの「アウト」のコールはボールが着地した瞬間 に「直ちに」,「大きな声で」選手にわかるようにはっきりとコールすること。

主なコールの種類

フォールト(fault)

- ・サービスがサービスコートの外に落ちたとき。(ネットの時はいわないこと)
- ・セカンドサービスの時も同じコールである。コール後直ちにポイントをアナウンスする。(ダブルフォールトというコールはない!)

アウト(out)

- ・ネットを超えた打球がコートの外側に落ちるか,パーマネント・フィクスチュア (ポストやフェンスなど)やコート外の何かにノーバウンドでふれたとき。
- ・アウトのコールを早くしないこと。(ボールがバウンドするまでコールしてはならない。)

ネット(net)

・サービスのボールがネット,センターベルト,バンド(ネット上部の白帯)にふれた後,レシーバー側へ落ちたとき。

スルー(through)

・打球がネットの穴を通り抜けた場合。

フット・フォールト

・サーバーが構えてからインパクトの瞬間までに

「歩行・走行によって位置が変わった」

「ベースラインやセンターマークの仮想延長線上を踏んだ」,

「サイドラインの仮想延長線上を超えた」場合,サーバーがボールをインパクト した直後にコールする。

レット(let)

主審が何らかの原因によりプレイに支障をきたすと判断して,そのプレイを中断するとき

・「サービスレット」の場合そのサービスのみやり直す。どのサービスをやり直すのかコールすること。

・「ポイントレット」の場合すべてファーストサービスからやり直す。

ノット・アップ(not up)

・プレーヤーが打つ意志を持って2バウンド以上で打ったボールがネットを超えたとき。

ファウル・ショット(foul shot)

- ・故意による2度打ち(偶然の2度打ちは失点とならずプレイを続行する。)
- ・ボールがネットを超える前に打ったとき(オーバーネット)
- ・ダブルスでパートナー同士が続けて打ったとき。

タッチ(touch)

- ・インプレー中に身体,ラケット,着衣,持ち物がネット,ポスト,相手のコート 内の地面にふれたとき。
- ・手から離れたラケットや脱げた帽子がネット等にふれたとき。

ヒンダランス(hindrance)

・プレーヤーが相手を妨害したとき。

故意に行った場合・・・失点

無意識に行った場合・・・ポイントレット

インプレー中に大きな声を発した場合は妨害となり失点

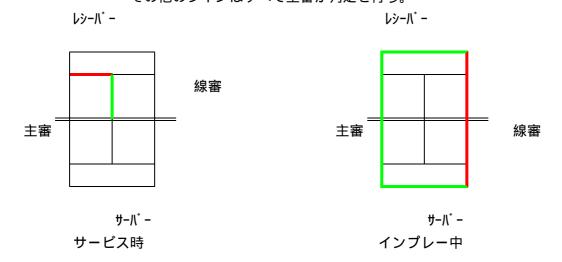
コレクション(correction)

- ・主審が線審の「フォールト」や「アウト」のコールが明らかに誤りであると判断 したとき。コールは「correction this ball was good, Let」となりポイントレットと なる。
- ・線審が「グッド」(いわゆるイン)と判定しても,主審からみて明らかにアウト (フォールト)の場合,主審は直ちにアウト(フォールト)のコールを行う。

主審のみ,2審制,3審制,4審制による審判の判定方法について

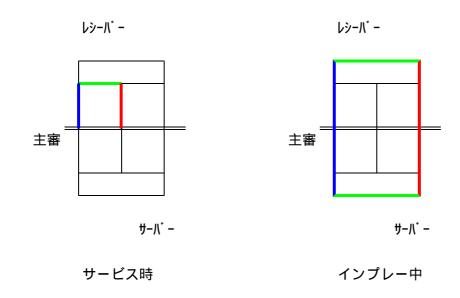
主審のみ・・・すべての判定について主審が権限を持つ。

2 審制・・・主審とサービスラインの線審で判定を行う。 線審はレシーバー側のサイドに立ち,サービスラインの判定のみ行い, 判定後素早く中央に移動しサイドラインの判定を行う。(赤線部分) その他のラインはすべて主審が判定を行う。

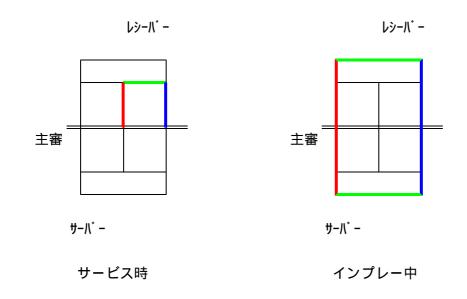


3 審制・・・主審とサイドラインの線審 2 名で判定を行う。 サーバー及びレシーバー側後ろに線審は位置する。 サービス時,レシーバー側の線審がセンターライン,サーバー側の線審が反対側のラインを見る。サーブ確認後サイドラインへ移動する。 その他のラインは主審が判定を行う。

(デュースコート側)



(アドバンテージコート側)



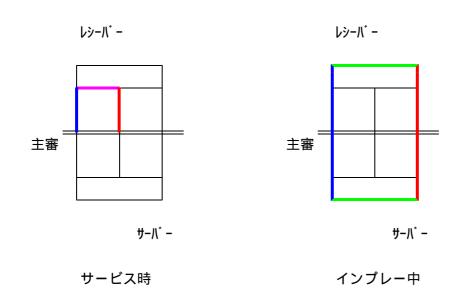
4審制・・・2審制と3審制をあわせた形で行う。

(主審,線審はサイドライン2名,サービスライン1名)

動き方は2審制,3審制と同様に行う。

主審はサービス時,フットフォルトなど,全体的によく見ておくこと。 ジャッジが明らかに間違っていると思った場合はオーバーコールを行う こと。

(デュースコート側)



(アドバンテージコート側)

